

「^{きょう}経^{づつ}筒」

- 指 定 千曲市指定有形文化財（考古資料） 平成 15 年 9 月 1 日
- 所 在 地 千曲市大字羽尾 247 番地 1 さらしなの里歴史資料館
- 所 有 者 千曲市教育委員会
- 概 要 銅製円筒形 寸法：直径 13.7 cm、高さ 24.3 cm、重さ 3.03kg
- 時 代 承安 2 年(1172)
- 銘 文 等 経筒側面に^いだ^だしがある
「歳次 承安二年 壬辰 四月十一日 己酉 願主菅原季孝」
- 公 開 さらしなの里歴史資料館で展示

この経筒は昭和 54 年 4 月 13 日、戸倉駅裏の^{きょうがみねいせき}経ヶ峰遺跡から出土したもので、高さ 24.3cm、直径 13.7cm、重さ 3.03kg の^{どうちゆうせいえんとうけい}銅鑄製円筒形経筒です。中央部に凸帯が一本あり、その上部に金箔が 4 枚貼られています。金箔上には墨書きらしいものが見えますが判読できません。側面には「歳次 承安二年 壬辰 四月十一日 己酉 願主菅原季孝」と^いだ^だし込まれていて、経筒外面全体には黒漆様の塗料が薄く塗られています。

この経筒は、今から 800 年以上前の承安 2 年(1172)に埋納されたもので、長野県下で出土した紀年銘を持つ経筒の中で 3 番目に古いものです。また破損や腐食の箇所がほとんどなく、金箔 4 枚貼りの優美な筒身の経筒は県下でも珍しいものです。

